

フレーベルの日に (三)

大阪市江戸堀幼稚園

成田クニ

○先づ歌ふ前に

今日私共の尊崇して居りますフレーベル先生の御祭典を行なはれまして、私の様な未熟な者が此所で御話をさせて頂きます事は誠に御恥しい次第でございしますが、誠に光榮の至りに存じます。今茲に暫くの間を頂戴致しまして幼児の音楽教育の事に就てほんの僅か私の感じました事を話させて頂きたいと存じます。

フレーベル先生の御言葉に「子供は歌を教えられる前に先づ感情即ち内部的生命を發達させなくてはならん」と云ふ御意見がございします。良い花を咲かせますには先づ前によく畑を耕やさねば成りません。又良い實を結ばせる爲にはよく根を培

かはねば成りませんのと同様に愉快に面白く効果有る様に幼児に歌はせ様と致しますには先づ先に其歌に對する幼児の興味をよび起し心地よき氣分にさせて後、歌はせねばならんかと思ひます。例へて申しますと摘草の歌を教えます時に、春の野邊の御話をしたり、冬、雪降る日に其の日の感じを話して後に雪の歌をうたはせたり致します事は、日頃皆様も御實行遊ばして居られます事でございませうが、只今申し述べ様と思ひます方法も亦行つてよろしいかと考へられます。

其れは御話の中に唱歌を交へて歌はせましたら幼児に興味を興へるであらうと思ふのでございします、例へて申し上げますと太郎サン花子サンの二人が野邊に遊びに行きました、其時汽車が通りま

したと云ふ御話を致しまして、「汽車が通る煙を出して」と歌ひ花子サン太郎サンの歸途も亦汽車で有りましたと云つて汽車の唱歌を歌ひます様に御話の中に御話に關聯した唱歌を歌ふて聞かせたり又歌はせたりする様に心懸けたいと思ふのでございます。

斯様にしやうと思ひますには、媼姆はよく唱歌を練習致しまして獨唱を以て幼兒に音樂の趣味を感ぜしむる丈けの技量が是非必要と成つて參ります此様にして居りますと幼兒は興味の中に覺えて自然に巧に歌ふ様になつて參りますと思ひます。

フレイベル先生は會話中に「今晚は」と云ふ言葉に歌にして教えられた事がございませぬ、入園當初急に環境の變りまして感情の正調を失ひ不安の状態にございませぬ新入幼兒等に對しまして、談話の中に交へて媼姆が獨唱し、又は樂器を聞かせて自然に幼兒をして歌はしめる様に導く事は、又良い方法かとも思ふのでございませぬ。

皆様も御存じで御座いませう、小學唱歌集を作られましたメーソン先生は東京高等師範學校附屬幼稚園で幼兒に小學唱歌集中にございませぬ「かをれ」の唱歌を教えられた時に、幼兒はあのむつかしき歌に拘らず喜び迎へたと云ふ事でございます。是れは全く先生の御指導の良ろしかつた爲に幼兒は興味を持つた事と思ふのでございませぬ。

先生は唱歌を教えられます時に、何時も「歌をあげませう」と云はれたらうでございませぬ。歌を教えますにはピアノや其他の機械に依らず、ほんとに自分の物として歌ふ事の出來た後に、幼兒に別ち與へるので有ると先生は常に話されたらうでございませぬ。斯う云う御話を聞きますと、私は今更ながら音樂に對する修養の足りませぬ事を痛切に感ずるのでございませぬ。私共は幼兒に歌はしむる前に自分先づ歌ひ得られる様に、音樂の修養に修養を重ね練習に練習を積みまして、唱歌をしてもづともつと保育上有效に利用したいと思ふのでございませぬ。

ございます。ほんとにつまらない御話を致しまして長い時間お耳を汚しました事を恐縮に存じます。

○心の門

洞愛幼稚園 北村文子

今日フレーベル先生の御祭りに此演壇に立つてお話いたしますことは實に光榮と存じます。

私が、幼稚園に入りましてから二年五箇月になります。日數では九百日になります、此の間に毎日三十人の子供を受け持ちまして考えて見ますと丁度二千七百人の子供を扱ひましたことになりませんが、どうしても子供達の心に入ることが出来ませんでした。私は朝も晝も晩も此事のみを考えて居りました折柄、昨今やうやく子供達の心に入ることの出来る様な微かな光が見えて来た様な感じがいたします。それは或る朝、私が大小二つの荷物を持って幼稚園に出勤いたしました。これを見つけた一

人の子供が飛んで来て、「先生お早う御座います」と云ひ終るが早いか「先生お荷物を持つて参りませう」と云ひました。私は快く同意いたしましたので、子供は一つの荷物を取つて呉れました、私は心から感謝して子供のなすかまゝにいたしました。子供は一つの荷物を持つてうれしさうに私について参りました。此事は子供が先生に奉仕をして居るのでございます。フレーベル先生が子供を知れと申されました事も丁度こんな事と存じます。かう云ふ事から私の心と子供の心とが親密になつて来た様に思はれます、子供の心と保姆の心とが常に歩調を合はして行かなければ嫁母の理想が實現されぬものをつくづく思ひました。此奉仕に對して保姆は同意し感謝すると云ふ事即ち子供の心と嫁母の心とが互に一致する時に初めて子供の心に入ることが出来るのだらうと存じます。更に一方に於いては愛らしい子供と生活する嫁母は自己を教育する人でなければならぬと思ひます。若自

己の教育を怠る様な事がありましたは、それこそ遠大な望多い子供を火中に投ずる様な危険に陥らしむるかもわかりません。それで其方法としては本を讀むと云ふ事も必要でありませうが、又、フレール先生の様な人格の高い古人を偲ぶと云ふも又、必要であらうと存じます。私共一方に於いて自己を教育し一方に於いて可愛らしい貴き子供と、世の中を楽しく送つて行きたいと存じます。

○過去をかへりみて

中大江幼稚園 辻 久榮

今日のフレール先生の御まつりに當りまして此先生が殊の外子供を愛された事に照して心恥しく感じます餘りに、「過去をかへりみて」といふ事に就て少し御話をさせて頂きたいと存じます。私が此幼稚園界に入りましてから、もはや十年となりました。當時はまだ學生氣分の去らないた

めですか何とも非常に窮屈に感じまして、保育室にても子供の顔なんかはよく見えませず、これだけの事をせねばならぬかと思へば思ふほど身體がかたくなるのみで、殆、毎日何をしてゐるのか自分ながらわからずにごしました。次の年位から子供がいかに可愛くなりました、しばしの休みなどにははやく顔をみたいといふやうな堪へられない執着を子供に對してもつてまゐりました。後、諸先生方の教を受け又覺束ながらも之に關する書物を繙きましてから、保育はいかにもむつかしいものであるとの心が強くなりました、どうしても眞の趣味が出ないのに苦しみました結果、せめて今一奮發して及ばずながらも子供の母になつてみたいと心にちかひをたてましたが、それすら不知不識の間に自からやぶつて居りました處が、過る三月末に三年間共に遊んで來ました五十餘名の子供にわかれましたが、其時ほど残り惜しくたゞ可愛くたゞ淋しい感じのした事は御座いませぬ

〇二つの道

東區船場幼稚園 直井 ヒサ

でした。これがいつしか結ばれたほんとうの愛情で御座いませうか、全く失敗勝の私にめぐまれた唯一つの賜ではないかと非常にうれしく思ふので御座います修養と云ふ内には反省といふ事が最も大切な事だと思ひます、かの論語に三度わが身をかへりみる云々と御座いますが、とにかく進歩といふ將來は反省といふ過去を基とせなければ出来ない事だと考えられますので、私の過去十年を一口にいへば至極短くても實際は随分長う御座いました。しかしいくら長いからとて今更唯過去のみ偲びましても一向偲が加ひのないものですからむしろこの大正八年度に臨みまして、新しい罪のない然も可愛い天使を迎へましたのを幸ひ、すべてを新にして進み、かつての失敗をくりかへさぬやう十二分の眞心を以て斯道の爲に盡し過去の御わびを申し上げたいと思ひます。誠に拙い言葉ながら所感の一端を述べさせていただきまして有り難う御禮を申し上げます。

私共は自分で考へてゐることを人様の前で話させて頂くといいふことは一つの自己教育であらうと存じます。殊に古人を御慕ひ申し古人の行績を考へたり、又仰せられました御言葉などを語り合ふことは實に一つの嚴かなお祭りの眞意義であらうとも考へられましたので、私もおがましようございまして一寸出まして自分の感じましたことにつきまして一言話させて頂き度と存じます。それは二の道といふ題で一つは興味といふ事と、一つは同情といふことでございます。

或る暖い心持ちの良い日に二三人の女の子が、「先生私たちにお人形と莫塵もぢんとを貸して下さい」と頼んで參りました。それで私は直に之れを貸し與へまして其子供等がそれを何處へ持つて行つて何をするかを見て居りました。すると、之れを一番

日あたりのよいお庭の方へ廣げまして、石の所へお人形を列べまして、之れに木の葉や梅の花瓣や松葉などを拾ひ集めて御馳走をして如何にも楽しさうに遊んで居ります。私にも「御客様に来て下さい」といふて誘ひに来て呉れました。それは雛祭りの御遊びで御座いました、それで私は其の日の保育案を止めまして其子供たちの遊びから材料を探りました。積木で此雛まつりを自由にさせました、私は其時何とも言へない感に打たれました、それは子供の興味といふことゝ自由な遊びといふことゝでございました。フレーベル先生の仰せられました「自由意志に依る活動は人の神性なり」といふことも此處かと思ひました。

幼稚園の始まる二十分前は一日中で最も大切な時であらうと存じます。其時には子供が楽しんで登園して参りますのを、嫁姆に門前で快く迎へてやりまして、子供自身が出席したことを先生が大へんに喜んで迎へて下さつたといふ暖い氣分にな

つて、其日の遊びを楽しく過すことが出来ませうそして親密に子供に接觸しまして幼児が自由意志を以て活動を致しますうちに、色々の發表をします其時も亦充分の同情を持つて觀てやりまして、其の内に幼児と嫁姆との接觸點を見出し且つ保育の材料を其子供が最も興味を持つてゐる所から取ることが大切かと存じます。故に子供の興味ある生活から保育の方法を案出しない時にはそれは全く死んだ保育案だと思ひます。

又同情を以て見てやるといふことは子供は大人から見ても誠に取るに足らん様なつまらないことに見えてゐましても、子供の心に取つては、大きく考えることがございますから嫁姆は之れをよく了解してやりまして、充分に親切に慰めてやり、又誤謬や過失を親切に處理してやり、或は訂正してやり、子供が善いことを致しましたら之れを認めてやる丈の力が持ちたいと思ひます。

或日、お飯事をするために折角出かけた菊の萌

芽を摘み取りました。私は其時直に注意を興へ様かと思ひましたけれども、幼兒は決して惡意で積んだのではありません只遊びの爲めに積んだのであると思ひましたので暫く自由に遊ばせて置きました、その興味の半ば過ぎた頃に其子供に申しました「彼の菊を若し摘み取らなかつたら、だんだん大きくなつて美しい花が咲く様になりますのに、惜しいことをしました、けれどもこれからは氣をつけませう」と申しました。すると其子供はよく私のいふたことを了解してうなづいてゐました。

私共は毎日保育をいたします上に子供の興味を尊重してやり同情を以て觀てやるこの二つの道が大切なことゝ存じます。

今日はフレーベル先生の御祭りにあたりまして私たち江戸堀研究会々員の未熟な者達が澤山出まして、長々と貴重な時間を御静聽下さいました事を一同に代りまして厚く御禮を申し上げます。

思ふよま、

一會員

□

眞夏まなつになつた。山を見ても野を見ても、さては藁に照りつける白日の光を見ても、誠まことに生々とした、力の充ちくゝてゐる心地がする。

前の休暇からこのかた幼稚園の先生としてのたえまない活動をつづけて來た私達が、日頃の目まぐるしい生活から暫く離れて、こゝにたとひ一月でも半月でも休暇をもつと云ふ事は何と嬉しい事だろう、政治家にせよ、實業家にせよ、社會の表面おもてに立つて活動する人達を見ると、あの火花をちらす様な花々しい生活、その緊張を本當にうらやましいと思ふが、しかしその活動の一方にはまたそ